

## 2023 年度通常総会添付書類

### <2023 年度事業報告>

#### I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2023年度（2023年3月1日～2024年2月29日）は下記を実施した。

##### (1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第4条1号）

時 期	名 称	内 容	場 所	参加者数	演題数
2023/6/2	2023 年度第 1 回見学会	設備見学および技術懇談会	(株) J A L エンジニアリング エンジン整備センター／成田航空機整備センター	46 名	-
2023/7/6-7	第 35 回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育(講義)	東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所タービン工場	42 名	7
2023/10/3	ガスタービン市民フォーラム 2023	「発電用ガスタービンにおける現状と今後について」	福井大学 文京キャンパス	102 名	1
2023/10/4-6	第 51 回日本ガスタービン学会定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表 定期講演会講演論文集発行	福井県国際交流会館	145 名	59
2023/11/10	2023 年度第 2 回見学会	設備見学および技術懇談会	(株) I H I そらの未来館, 鶴ヶ島工場	35 名	-
2023/11/26-12/1	International Gas Turbine Congress 2023 Kyoto (IGTC2023 Kyoto)	講演発表会、製品・技術の展示会および見学会	国立京都国際会館	492 名	225
2023/12/11	2023 年度若手技術者交流会	ガスタービン専門分野の講義と技術者同士の交流	三菱重工業(株) 関西支社	31 名	3
2024/1/30-31	第 52 回ガスタービンセミナー	「ガスタービンの脱炭素社会実現に向けた取り組みと最新技術動向」 セミナー資料集発行	東京大学 武田ホール及び Zoom によるオンライン (ハイブリッド開催)	119 名	12

##### (2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第4条2号）

図 書 名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2023/3/20, 5/22, 7/20, 9/20, 11/20, 2024/1/22	1,930 部
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2023/7, 2024/1	Web 掲載

(3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第4条3号）

2023年度に継続して共催・協賛した行事は41件であり、新規のものは下記の3件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2023/9/11-14	PHMAP 2023 Asia Pacific Conference of the Prognostics and Health Management Society 2023	一橋大学 一橋講堂	PHMAP23 実行委員会
共催	2023/09/21	第 89 回ターボ機械協会 創立 50 周年記念 学術講演会	早稲田大学 国際会議場	ターボ機械協会
協賛	2023/11/17	2023 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウム～人生の「マルチステージ」をつなぐ 学び直し～	オンライン (Zoom 会議)	日本工学会

ASME/IGTI が開催する Turbo Expo2023 の展示会に事務局職員を派遣するとともに学会のブースを開設して、情報発信および関連機関との交流を行った。

日本学術会議協力学術研究団体および公益社団法人日本工学会構成団体として学協会共通の諸課題について情報交換を行なった。

(4) ガスタービン及びエネルギー関連技術に関する研究、調査（定款第4条4号）

名 称	実 施 期 間	調 査 内 容
「国産ガスタービン・過給機生産統計（2024年版）」の資料収集および公表	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産統計に関する資料を収集し、纏めると共に、2022年資料を学会誌9月号に掲載した。
ガスタービンを考える会の開催	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の動向や今後の技術開発戦略について調査し、プロジェクト案の可能性、実現方策、体制案などの検討を行った。
ガスタービン研究開発プロジェクトに関する調査研究	毎年度継続して実施中	航空用ガスタービンに関する国内共同利用材料データベースの構築のプロジェクトは本年度終了した。その継続プロジェクトである航空機エンジン向け材料開発・評価システム基盤整備事業を推進中。
産官学連携に関する調査研究	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携の促進や研究開発プロジェクト実現の方策、地域産業との連携活動のあり方などを検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条5号）

ガスタービン及びエネルギー関連技術に関連した研究及び技術開発を奨励するため、2年に一度、優れた研究、技術に対して、日本ガスタービン学会賞（論文賞、技術賞、奨励賞）を授与している。2023年度は、学会賞審査の年度にあたるため、学会賞審査委員会において、学会賞の審査を行なった。その結果、論文賞2件、技術賞1件、奨励賞1件を選出した。

若手人材育成のため、第51回日本ガスタービン学会定期講演会において優れた研究発表を行った学生（2名）を表彰（日本ガスタービン学会学生優秀講演賞）した。

名 称	受賞内容 ・ 受賞者
2023 年度日本ガスタービン学会賞 [論文賞]	「気流中の水膜分裂によって発生する一次分裂水滴径分布に関する研究」 伊藤 大輔, 中野 晋, 竹田 陽一 (東北大学) (日本ガスタービン学会誌 49 巻 6 号 2021 年 11 月)
	「遮熱コーティングの損傷・非弾性変形解析と熱疲労寿命評価法の提案」 荒井 正行, 李 美里 (東京理科大学) (日本ガスタービン学会誌 51 巻 3 号 2023 年 5 月)
2023 年度日本ガスタービン学会賞 [技術賞]	「上越火力発電所の熱効率および運用性向上への取組み」 山野辺 宏, 西村 由明, 田村 良範 (東北電力(株)), 井上 昌和, 巽 直也 (三菱重工業(株))
2023 年度日本ガスタービン学会賞 [奨励賞]	井上 拓哉 (九州大学) 対象論文: 「Parametric analysis of interfacial friction factor for liquid film dynamics sheared by turbulent gas flow」 (JGPP Volume13 Number3 (November 2022))

2023 年度日本ガスタービン学会学生優秀講演賞	浅沼 拓真 (早稲田大学大学院) 「突極形タービン発電機の内部流動と冷却構造に関する研究」
	兼次 正隆 (東京理科大学大学院) 「マルチショット計算を導入した格子-粒子カップリング法による雨水条件下での SLD 着氷の数値シミュレーション」

(6) その他本学会の目的を達するために必要な事業 (定款第 4 条 7 号)

ホームページからの情報発信の充実化を図るとともに、ソーシャル・ネットワーキング・サービスによる情報発信の強化に努めた。

## II. 運営組織の概要

### 1. 役員・会員・職員

#### (1) 役員 (理事、監事)

2024 年 2 月 29 日現在

役名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所属
会長 代表理事	山本 誠	非常勤	2022/4/15	なし	業務の総括	東京理科大学
副会長 代表理事	輪嶋 善彦	非常勤	2023/4/18	なし	業務の総括	(株) 本田技術研究所
執行理事	佐藤 哲也	非常勤	2023/4/18	なし	法人管理 総務	早稲田大学
執行理事	田中 良造	非常勤	2023/4/18	なし	法人管理 企画	川崎重工業(株)
執行理事	濱名 寛幸	非常勤	2023/4/18	なし	法人管理 財務	三菱重工業(株)
執行理事	猪亦 麻子	非常勤	2022/4/15	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	東芝エネルギーシステムズ(株)
執行理事	鈴木 雅人	非常勤	2020/4/16	なし	法人管理 国際関係 公 1 (1) 国際会議 (兼務)	(国研) 産業技術総合研究所
執行理事	山本 武	非常勤	2023/4/18	なし	公 1 (1) 学術講演会	(国研) 宇宙航空研究開発機構
執行理事	仲俣千由紀	非常勤	2022/4/15	なし	公 1 (1) 集会行事	(株) I H I
執行理事	檜山 貴志	非常勤	2023/4/18	なし	公 1 (1) 集会行事	三菱重工業(株)
執行理事	西田 啓之	非常勤	2023/4/18	なし	公 1 (1) 技術普及	(一財) 電力中央研究所
執行理事	山本 悟	非常勤	2022/4/15	なし	公 1 (2) 学会誌編集	東北大学
執行理事	及部 朋紀	非常勤	2020/4/16	なし	公 1 (2) 調査研究	防衛装備庁
執行理事	寺本 進	非常勤	2022/4/15	なし	公 1 (2) 広報	東京大学
執行理事	黒瀬 良一	非常勤	2023/4/18	なし	公 1 (3) 表彰・助成	京都大学
理事	花井 直人	非常勤	2023/4/18	なし	公 1 (1)	(株) J A L エンジニアリング

理事	清野 幸典	非常勤	2020/4/16	なし	公1(2)	東北電力(株)
理事	杉浦 修	非常勤	2023/4/18	なし	公1(2)	(株)本田技術研究所
理事	山田 和豊	非常勤	2023/4/18	なし	公1(2)	岩手大学
理事	渡邊 啓悦	非常勤	2020/4/16	なし	公1(2)	(株)荏原製作所
監事	鈴木 健	非常勤	2023/4/18	なし	業務監査	(株)IHI
監事	吉岡 洋明	非常勤	2023/4/18	なし	業務監査	元 東北大学

## (2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2024年2月29日現在	昨年度末 2023年2月28日現在	
正会員	1716名	1755名	△39名
賛助会員	107社(134口)	107社(137口)	0社(△3口)
学生会員	21名	35名	△14名
終身会員	79名	66名	13名
名誉会員	34名	40名	△6名

\*会員増減数には、定款第11条及び会員に関する規程第15条による「資格喪失者」6名減を含む。

## (3) 職員

2024年2月29日現在

職務	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局員	中村 優美	2002年4月25日(嘱託) 2007年7月2日(常勤)	事務局の総括	事務局長
事務局員	山本 由香	2012年11月14日(アルバイト) 2014年11月14日(嘱託)	事務局事務一般	
事務局員	田頭 味和	2016年4月4日(アルバイト) 2021年4月1日(嘱託)	事務局事務一般	

## 2. 役員会等

### (1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2023/3/15	1) 会員入退会、資格喪失の件 2) 2022年度通常総会開催、総会招集通知の件 3) 2022年度通常総会議案の件 4) 2022年度事業報告および附属明細書の件 5) 2022年度計算書類および財産目録の件 6) 2023年度事業計画・予算の件 7) 2023年度理事・委員長候補者の件 8) テキスト改訂版発行の件 9) 代表理事・執行理事報告 10) 2022年度監事監査実施報告 11) 各委員会報告、事務局報告 12) 2023年度第1回理事会議事録	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 全会一致で承認

2023/4/18	1) 代表理事選定の件 2) 執行理事選定の件 3) 業務分担の件 4) 2023 年度第 1 回臨時理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認
2023/5/23	1) 理事会引継書の件 2) 会員入退会の件 3) 財務状況報告の件 4) 委員会構成の件 5) 内閣府公益認定等委員会への提出書類の件 6) 日本内燃機関連合会会員継続の件 7) 事務局 6 月度賞与の件 8) 代表理事・執行理事報告 9) 2023年度理事会開催日程報告 10) 各委員会、事務局報告 11) 2023 年度第 2 回理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 全会一致で承認
2023/7/12	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰候補推薦の件 5) 代表理事・執行理事報告 6) 各委員会、事務局報告 7) 2023 年度第 3 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2023/9/12	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 他学協会からの協賛依頼行事の件 5) 代表理事・執行理事報告 6) 各委員会、事務局報告 7) 2023 年度第 4 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2023/10/30	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 規程類改定の件 5) 他学協会からの協賛依頼行事の件 6) 代表理事・執行理事報告 7) 各委員会、事務局報告 8) 2023 年度第 5 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 了承 了承 全会一致で承認
2023/12/13	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 次年度事業計画の件 5) 次年度予算の件 6) 名誉会員候補者、終身会員候補者提案の件 7) 事務局職員賞与の件 8) 50 周年記念事業としての祝金について 9) 代表理事・執行理事報告 10) 各委員会、事務局報告 11) 2023 年度第 6 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 継続審議 継続審議 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2024/2/15	1) 会員入退会の件 2) 特定費用準備資金計画変更の件 3) 財務状況報告の件 4) 2024 年度事業計画の件 5) 2024 年度予算の件 6) 2024 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 7) 2024 年度役員候補者推薦の件  8) 2023 年度日本ガスタービン学会賞審査結果 9) 事務局職員給与の件 10) 日本工学会理事候補者選出の件	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認、一部継続審議 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

	1 1) 他学協会からの協賛依頼行事 1 2) 代表理事・執行理事報告 1 3) 各委員会・事務局報告 1 4) 2023 年度第 7 回理事会議事録	全会一致で承認／了承 了承 了承 全会一致で承認
--	--	-----------------------------------

(2) 総会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2023/4/18	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2022 年度通常総会 第 1 号議案： 計算書類および財産目録の件 第 2 号議案： 理事選任の件 第 3 号議案： 補欠理事選任の件 第 4 号議案： 監事選任の件 第 5 号議案： 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 猪亦 麻子 他 5 名 開催なし

2023 年度において特に倫理規定に関する問題提起や規程の見直し発議はなし。

(2) 自己点検委員会

委員長 猪亦 麻子 他 5 名 開催 1 回 (E-mail による審議)

2022 年度において日本ガスタービン学会が主催した事業について、各事業主体の委員会に自己点検チェックリストに基づく自己点検を依頼し、その結果について確認した。

(3) 運営委員会

委員長 佐藤 哲也 他 14 名 開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) 企画委員会

委員長 田中 良造 他 12 名 開催 2 回

企画委員会の取り組みテーマについて委員会でブレインストーミングを実施し検討項目の抽出を行った。学会の活性化・財務体制強化を優先テーマと位置づけ、優先検討項目を学会特典の検討・寄付金の募集方法の検討とし来年度に取り組んでいくことを予定している。

(5) 国際委員会

委員長 谷 直樹 他 12 名 開催 3 回

6 月にボストンで開催された ASME Turbo Expo 2023 に展示ブースを出展した。また、IAC (International Advisory Committee) のミーティングを IGTC2023 会期中に開催し、IGTC2023 開催状況についての概要説明を行うとともに、IAC メンバーからの意見収集を実施した。インドで開催予定の ACGT2024 について、組織委員会のミーティングに参加し 8 月に開催することを正式に決定した。

(6) アドバイザリー委員会

委員長 田沼 唯士 他 35 名 開催 1 回

2023 年度活動概要、2023 年度事業実施予定およびトピックスとして前回委員会でのコメントに対する検討状況と IGTC2023 Kyoto の準備状況説明を学会側から行い、主にカーボンニュートラル技術の発信並びに会員増強に関する議論と質疑応答を行った。委員より得られた提言や意見は、運営委員会に報告した。

(7) 学術講演会委員会

委員長 岡本 光司 他 13 名 開催 5 回

第 51 回日本ガスタービン学会定期講演会を福井県国際交流会館(福井市)にて対面形式で開催し、見学会(福井県工業技術センターなど)を実施した。また、ガスタービン市民フォーラム 2023 を福井大学文京キャンパス総合研究棟 I 大会議室にて対面形式で開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 檜山 貴志 他 14 名 開催 6 回

集会行事の企画・実施・資料集発行等を担当した。今年度は、設備見学および技術懇談会を目的とした見学会を 2 回開催、また学生および若手技術者を対象とした第 35 回教育シンポジウムを実施した。第 52 回ガスタービンセミナーについては「ガスタービンの脱炭素社会実現に向けた取り組みと最新技術動向」をテーマとし、昨年度同様に今年度も、産官学参加、ハイブリッド形式にて実施し、多くの参加につながった。また、ガスタービン専門分野の講義・講演と技術者同士の対面交流を目的とした若手技術者交流会は、4 年ぶりに開催が実現した。

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 高橋 徹 他 16 名 開催 1 回

定期講演会と併催するガスタービン市民フォーラムの講師選定し、学術講演委員会に答申した。また、教育シンポジウムの講師を選定し、集会行事委員会に答申した。学会 50 周年として教科書「ガスタービン工学」の改訂作業を行い、第二版として 2023 年 6 月 30 日付で発行した。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 山本 悟 他 26 名 開催 6 回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項(特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等)を担当した。特集として、2023 年 3 月号「日本ガスタービン学会創立 50 周年記念特集(後編)」、2023 年 5 月号「最適化技術とその活用の最前線」、2023 年 7 月号「国内大学の研究」、2023 年 9 月号「航空分野の脱炭素化へ向けたサステナブル航空燃料(SAF)普及の取り組み」、2023 年 11 月号「再生可能エネルギーの開発現況と今後の展開」、2024 年 1 月号「ガスタービンの設置環境における対応技術/第 51 回定期講演会報告」を企画・編集した。また、特集企画以外の記事についても検討し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。中でも、7 月号で初めて企画した「国内大学の研究」では、ガスタービン関連の研究を行っている国内大学の 15 研究室から最新の研究がまとめて紹介された。会員からのフィードバックで好評を得ており、3 年後辺りにまた企画することになった。

(11) 論文委員会

委員長 姫野 武洋 他 14 名 開催 5 回

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems (略称 JGPP) の編集・発行を行った。JGPP については、Vol. 14, No. 2 (2023/7) および Vol. 15, No. 1 (2024/1) の計 2 号が発行された。IGTC2023 のフルペーパーを JGPP 投稿論文として受け付けた結果、70 件を超える投稿論文があった。これに対応するため、委員を増員するとともに定期的に委員会を開催し、査読状況の確認および採否判定を実施した。その結果、IGTC2023 開催後速やかに、最初の採択論文を Vol. 15, No. 1 で発行した。今後、随時採択論文の発行を予定している。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 村田 章 他 8 名 開催 2 回 (内 E-mail 会議 2 回)

2022 年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌 2023 年 9 月号 (Vol. 51 No. 5) に掲載した。

(13) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 14 名 開催 1 回 (内 E-mail 会議 1 回)

学会の産官学連携促進活動のあり方や将来の方向性について検討した。傘下のワーキンググループ「ガスタービンを考える会」をマネージして技術動向を討論し、今後の共同プロジェクトの可能性などを考察した。また調査研究委員会では実施中の NEDO プロジェクトに対して助言を行った。次年度に向けて、地域産業界との懇談会や、

若手研究者と産業界との懇談会などの実施を継続検討している。

(14) 広報委員会

委員長 寺本 進                      他7名                      開催0回

ホームページや会員メーリングリストを通して、学会の活動状況・各種イベント開催について、広く情報発信を行った。また、IGTC2023 実行委員会と連携し、専用サイトによる国際会議の広報活動を行った。

(15) 表彰委員会

委員長 輪嶋 善彦                      他4名                      開催2回

学術講演会委員会と協力して、第51回定期講演会で講演発表した学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。また、この定期講演会で研究発表を行う学生の旅費の補助を行った。

(16) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 輪嶋 善彦                      他4名                      開催3回（内E-mail会議1回）

2024年度に就任する理事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(17) 名誉会員候補者選考委員会

委員長 山本 誠                      他6名                      開催1回

規定に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 終身会員候補者選考委員会

委員長 山本 誠                      他4名                      開催1回

規定に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(19) 調査研究委員会（材料データベース調査研究委員会）

委員長 川岸 京子                      他11名                      開催1回

2021年5月より「航空機エンジン向け材料開発・評価システム基盤整備事業」をNEDO事業として開始し、参加各機関で2種類の材料の材料試験を実施中。この前身プロジェクトであるSIP事業の成果報告とプロジェクトの進捗状況について情報共有するとともに意見交換を行った。また新規プロジェクト公募について情報提供を行った。

(20) 将来ビジョン検討委員会

委員長 高橋 徹                      他9名                      開催0回

実施なし。

(21) 男女共同参画推進委員会

委員長 森川 朋子                      他5名                      開催6回

女性技術者および女子学生のネットワークの促進を目的としたランチ交流会をIGTC期間中に実施した。

(22) エキスパート委員会

委員長 船崎 健一                      他3名                      開催1回

高校生及び大学1、2年生までを読者層として想定して2021年度末に脱稿したガスタービン入門書については、技術普及委員会での議論の結果、内容的にはやや難しくかつボリュームもかなりあるので、もう少し平易な内容とボリュームを抑えたものにすることが要望として本委員会に伝えられた。提示された案としては、数ページのリーフレット形式にまとめることに加え、章毎にある程度独立させるモノグラフ的な形式なども候補に挙がっている。次年度早めに関連の作業に着手するとともに、先の実稿の活用方法を改めて検討することとした。また、当該入門書作成を活用した初心者向けの講演会、模擬授業など、シニア会員を主たる講師としたイベントの展開などを改めて検討していくことを予定している。



(23) 創立 50 周年記念事業実行委員会

委員長 渡辺 紀徳                      他 9 名                      開催 2 回

前年度に引き続き、学会創立 50 周年事業の運営を行った。技術普及委員会との協力により「ガスタービン工学」を改訂し、第 2 版として 2023 年 6 月 30 日に出版した。また、学会 50 年史データ集の編集作業を行い、学会ホームページの会員ページに掲載した。若年者向けにガスタービンを紹介するパンフレットの作成は、技術普及委員会が継続することになった。今年度をもって創立 50 周年記念事業は終了し、実行委員会は解散した。

(24) IGTC2023 実行委員会

委員長 太田 有                      他 12 名                      開催 5 回

2023 年 11 月 26 日(日)–12 月 1 日(金)に国立京都国際会館にて開催された IGTC2023 Kyoto の準備・運営を行った。会議の参加登録者は 492 名（同伴者 9 名）に及んだ。講演会では Plenary Lecture 4 件、Keynote Lecture 5 件、Panel Discussion 2 件をはじめ一般講演は 214 件に達した。また、ガスタービンおよびエネルギー関連技術・製品の展示会を併設し、のべ 1600 名を越える参加者があった。最終日には 2 コースのプラントツアーが開催された。開催期間内に国際委員会と連携して IAC Meeting、男女共同参画推進委員会と連携して女性技術者の会を開催した。報告書および学会誌への報告を完了した後、解散する予定である。

(25) 学会賞審査委員会

委員長 渡辺 紀徳                      他 8 名                      開催 2 回

本年度は、学会賞審査の年度にあたる。自薦他薦および論文委員会から推薦された論文や技術に対して、専門的見地から審査する審査員を選出して、慎重かつ公正な審査を実施した。2024 年 1 月 25 日に技術賞のヒアリングを含む最終審査会を開催し、論文賞 2 件、技術賞 1 件、奨励賞 1 件の候補を選出した。